

作品リスト

*本リストには各作品について、作品番号、作品名、作者、制作年、素材・技法、寸法、所蔵先の順に記した。寸法の単位はすべてcmである。平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行を基本とし、形状に応じて高さ(H)、径(D)を記載した。第3章の工芸部門では、高・径/幅・奥行・高と記した。
*会期中、一部展示替えがある。
*東京会場で展示される作品には作品番号の後に(T)、静岡会場で展示される作品には(S)、大阪会場で展示される作品には(O)を記した。記号のない作品は、すべての会場で展示される作品である。
*都合により会場によっては出品されない作品がある。

第1章

語り継ぐ美

時を超えて美を語る言葉・
語らせる作品

p.010 | 1

ポール・セザンヌ
《水浴》
1883-87年
油彩/カンヴァス
20.0×22.1
公益財団法人大原芸術財団
大原美術館

p.011 | 2

ポール・セザンヌ
《草刈り人》
1875-76年頃
水彩、鉛筆/紙
12.5×22.0
東京藝術大学

p.012 | 3 TO

ポール・セザンヌ
《ジャ・ド・ブーフアの木》
1885-87年
水彩、鉛筆/紙
32.5×50.0
静岡県立美術館

p.014 | 4 T

オディロン・ルドン
《眼をとじて》
1890年
リトグラフ/紙
31.3×24.0
岐阜県美術館

p.015 | 5 T

オディロン・ルドン
《花》
1905-10年頃
油彩/カンヴァス
50.0×65.0
岐阜県美術館

p.015 | 6 T

オディロン・ルドン
《蜘蛛》
1887年
リトグラフ/紙
27.7×21.7
岐阜県美術館

p.016 | 7 S

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第1集
I …はじめに水溜り、つづいて
娼婦、とある寺院の一隅、兵士
の姿、たけり立つ二頭の白馬に
ひかれた車》
1888年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
29.1×20.8
群馬県立近代美術館

p.016 | 8 O

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第1集
V つづいて魚の胴体に人間の
頭をつけた奇妙な生き物が現
れた》
1888年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
27.5×17.0
群馬県立近代美術館

p.017 | 9 O

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第1集
VII …緑色の目をしたキマイラが
のたうちまわり吠えだてる》
1888年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
27.5×16.0
群馬県立近代美術館

p.017 | 10 S

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第1集
IX いたるところで醜が焔をはく》
1888年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
20.4×15.8
群馬県立近代美術館

p.017 | 11 S

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第3集
V 花が散り怪しい蛇の頭が現
れる》
1896年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
25.9×19.8
群馬県立近代美術館

p.018 | 12 O

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第3集
XIII …そして頭をもたない目が
軟体動物のように漂っていた》
1896年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
31.0×22.4
群馬県立近代美術館

p.018 | 13 O

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第3集
XVI 私は常に偉大なるイシス
である!何人も私のヴェールを
持ち上げた者はいない!私の生
み出す果実は太陽である!》
1896年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
31.5×21.7
群馬県立近代美術館

p.018 | 14 S

オディロン・ルドン
《聖アントワヌの誘惑 第3集
XVIII アントワヌ:これらすべて
のもの目的は何だろうか? 悪
魔:目的なんぞありはしない!》
1896年
リトグラフ/紙(シヌ・アブリケ)
30.7×24.8
群馬県立近代美術館

p.020 | 15

オーギュスト・ロダ
ン
《考える人》
1880年
ブロンズ
37.2×28.6×23.6
静岡県立美術館

p.021 | 16

オーギュスト・ロダ
ン
《裸のバルザック》
1896年頃
ブロンズ
94.0×38.5×36.0
静岡県立美術館

p.022 | 17 SO

オーギュスト・ロダ
ン
《パオロとフランチェスカ》
1887-89年頃
ブロンズ
29.8×59.1×27.0
静岡県立美術館

p.024 | 18 O

エドヴァルド・ムンク
《マドンナ》
1895-1902年
リトグラフ、木版/紙
60.5×44.2
群馬県立近代美術館

p.025 | 19

エドヴァルド・ムンク
《ヴァンパイア》
1895-1902年
色彩リトグラフ、色彩木版/紙
38.5×56.3
静岡県立美術館

p.025 | 20 O

エドヴァルド・ムンク
《宇宙での出逢い》
1898-99年
色彩木版/紙
18.2×25.2
群馬県立近代美術館

p.025 | 21 S

エドヴァルド・ムンク
《病める少女》
1894年
ドライポイント、ルーレット/紙
38.9×29.2
群馬県立近代美術館

p.026 | 22

エドヴァルド・ムンク
《マクスナー嬢の肖像》
1907年
油彩/カンヴァス
51.0×45.2
ひろしま美術館

p.026 | 23 S

エドヴァルド・ムンク
《ブローチの女(エヴァ・ムドッ)》
1903年
リトグラフ/紙
60.0×46.0
群馬県立近代美術館

p.028 | 24

ジョルジュ・ルオー
《裁判所のキリスト》
1935年
油彩/厚紙
75.0×105.0
石橋財団アーティゾン美術館

p.029 | 25

ジョルジュ・ルオー
《郊外のキリスト》
1920-24年
油彩/紙
92.0×73.6
石橋財団アーティゾン美術館

p.030 | 26

ジョルジュ・ルオー
《聖書の風景》
1953-56年頃
油彩/カルトン
39.0×52.5
大阪中之島美術館

p.030 | 27 O

ジョルジュ・ルオー
《大馬車(サルタンバンク)》
1929-31年頃
油彩/カルトン
56.3×78.5
個人蔵(大阪中之島美術館寄託)

p.032 | 28

パブロ・ピカソ
《黄色い背景の女》
1937年
油彩/カンヴァス
130.0×97.0
東京ステーションギャラリー

p.033 | 29

パブロ・ピカソ
《ギターのある静物》
1912年
油彩/カンヴァス
64.5×50.0
東京ステーションギャラリー

p.033 | 30 O

パブロ・ピカソ
《女の顔》
1938年
エッチング/紙
10.4×7.5
彫刻の森美術館(公益財団法人
彫刻の森芸術文化財団)

p.035 | 31 SO

ルネ・マグリット
《レディ・メイドの花束》
1957年
油彩/カンヴァス
163.0×130.5
大阪中之島美術館

p.036 | 32

ルネ・マグリット
《前兆》
1938年
油彩/カンヴァス
54.3×65.5
ポーラ美術館

p.036 | 33

ルネ・マグリット
《生命線》
1936年
油彩/カンヴァス
73.1×54.1
ポーラ美術館

p.038 | 34

アルベルト・ジャコメッティ
《鼻》
1947年
ブロンズ、針金、ロープ、銅
81.3×71.1×36.8
大阪中之島美術館

p.039 | 35 TS

アルベルト・ジャコメッティ
《ヤナイハラ1》
1960-61年
ブロンズ
43.2×29.2×12.7
国立国際美術館

p.040 | 36 O

アルベルト・ジャコメッティ
《腕のない細い女》
1958年
ブロンズ
60.0×8.0×20.0
彫刻の森美術館(公益財団法人
彫刻の森芸術文化財団)

p.041 | 37 O

サルバドール・ダリ
《ホルト・リガトの聖母》
1950年
油彩/カンヴァス
275.3×209.8
福岡市美術館

p.042 | 38 S
サルパドール・ダリ
《幽霊と幻影》
1934年頃
油彩／カンヴァス
100.0×73.0
大阪中之島美術館

p.044 | 39
フランシス・ベーコン
《スフィンクス・ミューリエル・ベル
チャーの肖像》
1979年
油彩／カンヴァス
198.0×147.5
東京国立近代美術館

p.045 | 40 S
フランシス・ベーコン
《スフィンクス》
1953年頃
油彩／カンヴァス
151.0×116.0
豊田市美術館

p.047 | 41 S
重要文化財
高橋由一
《鮭》
1877年頃
油彩／紙
140.0×46.5
東京藝術大学

p.048 | 42 O
重要文化財
高橋由一
《花魁》
1872年
油彩／カンヴァス
77.0×54.8
東京藝術大学

p.050 | 43
熊谷守一
《夕映》
1970年
油彩／板
24.3×33.4
岐阜県美術館

p.051右下 | 44
熊谷守一
《朝のはごまり》
1969年
油彩／板
24.3×33.4
岐阜県美術館

p.051左上 | 45
熊谷守一
《ほたるぶくろ》
1961年
油彩／板
33.2×24.1
静岡県立美術館

p.052右上 | 46
熊谷守一
《自画像》
1904年
油彩／カンヴァス
60.8×54.7
東京藝術大学

p.052左下 | 47 TO
熊谷守一
《風景》
1953年
油彩／板
24.0×33.2
東京藝術大学

p.053 | 48 TS
熊谷守一
《ヤキバノカエリ》
1956年
油彩／カンヴァス
50.0×60.5
岐阜県美術館

p.054 | 49
熊谷守一
《宵月》
1966年
油彩／板
33.2×24.0
佐助文庫

p.056 | 50
岸田劉生
《椿君に贈る自画像》
1914年
油彩／カンヴァス
44.0×36.8
東京都現代美術館

p.057右上 | 51
岸田劉生
《代々木附近》
1914年
油彩／カンヴァス
38.2×45.5
大阪中之島美術館

p.057左下 | 52 SO
重要文化財
岸田劉生
《道路と土手と塀(切通の写生)》
1915年
油彩／カンヴァス
56.0×53.0
東京国立近代美術館

p.058左上 | 53
岸田劉生
《支那服を着た妹照子像》
1919-21年
油彩／カンヴァス
53.0×45.3
ひろしま美術館

p.058右上 | 54 T
岸田劉生
《自画像》
1912年
油彩／カンヴァス
33.3×24.1
東京都現代美術館

p.058右下 | 55 T
岸田劉生
《麗子肖像(麗子五歳之像)》
1918年
油彩／カンヴァス
45.3×38.0
東京国立近代美術館

p.060 | 56 TS
速水御舟
《洛北修学院村》
1918年
絹本着色
132.0×97.5
滋賀県立美術館

p.061左上 | 57 TS
速水御舟
《鍋島の皿に柘榴》
1921年
絹本着色
36.8×49.5
個人蔵

p.061右下 | 58 T
速水御舟
《紅白芙蓉(芙蓉園)》
1933年
絹本着色
42.4×54.0

p.063上 | 59 O
松本竣介
《Y市の橋》
1942年
油彩／カンヴァス
37.8×45.6
岩手県立美術館

p.063下 | 60
松本竣介
《Y市の橋》
1944年頃
油彩／カンヴァス
65.0×80.5
個人蔵

p.064上 | 61 TS
松本竣介
《並木道》
1943年
油彩／カンヴァス
33.0×41.0
東京国立近代美術館

p.064下 | 62
松本竣介
《鉄橋近く》
1944年頃
油彩／カンヴァス
45.5×53.0
岩手県立美術館

p.065上 | 63
松本竣介
《塔のある風景》
1947年頃
油彩／カンヴァス
45.0×59.0
岩手県立美術館

p.065下 | 64 TS
松本竣介
《建物》
1948年
油彩／板
60.5×73.0
東京国立近代美術館

p.067 | 65
舟越保武
《聖ペロニカ》
1978年
ブロンズ
36.1×25.8×29.0
岩手県立美術館

p.068 | 66
舟越保武
《ゴルゴダ》
1989年
ブロンズ
35.5×21.0×34.0
岩手県立美術館

p.070上 | 67 O
倉俣史朗
《Miss Blanche(ミス・ブランチ)》
デザイン 1988年／製作 1989年
アクリル、造花、アルミパイプ
87.5×62.0×60.0
大阪中之島美術館

p.070下 | 68 TS
倉俣史朗
《ミス・ブランチ》
1988年
アクリル、造花、アルミニウムパイプ
にアルマイト染色仕上げ
87.5×62.0×60.0
武蔵野美術大学 美術館・図書館

p.071 | 69 SO
倉俣史朗
《引き出しの家具(櫥)》
1967年
ナラ合板
145.0×142.0×40.0
大阪中之島美術館

p.072上 | 70 SO
倉俣史朗
《引き出しの家具(椅子)》
1967年
ナラ合板、布張りの座と背
80.0×85.0×72.0
大阪中之島美術館

p.072下 | 71 SO
倉俣史朗
《引き出しの家具(ソファ)》
1967年
ナラ合板、布張りの座と背
75.0×170.0×75.0
大阪中之島美術館

p.073 | 72 SO
倉俣史朗
《引き出しの家具(机)》
1967年
ナラ合板
42.5×100.0×55.0
大阪中之島美術館

p.074 | 73
石田徹也
《飛べなくなった人》
1996年
アクリル／板
103.0×145.6
静岡県立美術館

p.075 | 74 TO
石田徹也
《社長の傘の下》
1996年
アクリル／板
103.0×145.6
静岡県立美術館

p.076 | 75 O
石田徹也
《燃料補給のような食事》
1996年
アクリル／板
145.6×206.0
静岡県立美術館

第2章

日本美の再発見

古代から明治まで

p.082 | 76
《縄文土器 深鉢 火焔型土器》
新潟県長岡市深沢町
岩野原遺跡出土
縄文時代(中期)
土製
高44.0×幅39.5
國學院大學博物館

p.083右 | 77
国宝
《土偶 中空土偶》
北海道函館市書保内野遺跡出土
縄文時代(後期)・
前2000-前1000年
土製
高41.5
北海道・函館市(函館市縄文文化交流センター保管)
※本展では複製(茅野市尖石縄文考古館蔵)を展示。

p.083中 | 78
国宝
《土偶 縄文のビーナス》
長野県茅野市棚畑遺跡出土
縄文時代(中期)・
前3000-前2000年
土製
高27.0
長野・茅野市(茅野市尖石縄文考古館保管)
※本展では複製(茅野市尖石縄文考古館蔵)を展示。

p.083左 | 79
国宝
《土偶 縄文の女神》
山形県舟形町西ノ前遺跡出土
縄文時代(中期)・
前3000-前2000年
土製
高45.0
山形県(山形県立博物館保管)
※本展では複製(茅野市尖石縄文考古館蔵)を展示。

p.084右下 | 80
国宝
《土偶 合掌土偶》
青森県八戸市風張1遺跡出土
縄文時代(後期)・
前2000-前1000年
土製
高19.8
青森・八戸市(八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館保管)
※本展では複製(茅野市尖石縄文考古館蔵)を展示。

p.084左上 | 81
国宝
《土偶 仮面の女神》
長野県茅野市中ッ原遺跡出土
縄文時代(後期)・
前2000-前1000年
土製
高34.0
長野・茅野市(茅野市尖石縄文考古館保管)
※本展では複製(茅野市尖石縄文考古館蔵)を展示。

pp.086-087 | 82 O
伊藤若冲
《石燈籠図屏風》
江戸時代・18世紀
六曲一双
紙本墨画
各159.0×363.0
京都国立博物館

pp.088-089 | 83 T
重要文化財
伊藤若冲
《蓮池図》
江戸時代・寛政元年 (1789)
六幅
紙本墨画
各159.0×90.0
大阪・西福寺

pp.090-091 | 84 S
重要文化財
伊藤若冲
《仙人掌群鶏図襖絵》
江戸時代・寛政元年 (1789)
六面
紙本金地着色
各177.2×92.2
大阪・西福寺

pp.094-095 | 85
曾我蕭白
《群仙図屏風》
江戸時代・18世紀
二曲一双
紙本墨画金引
各160.2×175.0
東京藝術大学

p.96 | 86
曾我蕭白
《柳下鬼女図屏風》
江戸時代・18世紀
二曲一隻
紙本墨画淡彩
153.9×152.6
東京藝術大学

pp.098-101 | 87
昇龍園 (pp.98-99) : S
露龍園 (pp.100-101) : T
松江市指定文化財
長沢芦雪
《龍図襖絵》
江戸時代・18世紀
八面
紙本墨画
各175.0×115.0
島根・西光寺

p.102 | 88 O
葛飾北斎
《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
江戸時代・天保2年 (1831) 頃
横大判錦絵
26.0×38.5
大阪市立美術館

p.103 | 89 S
葛飾北斎
《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
江戸時代・天保2年 (1831) 頃
横大判錦絵
25.9×38.5
和泉市久保惣記念美術館

90 O
葛飾北斎
《北斎漫画 (第三編)》
江戸時代・文化12年 (1815)
1冊
22.7×16.0
淡彩摺・半紙本
大阪市立美術館

p.104 | 91 S
葛飾北斎
《北斎漫画 (第三編)》
江戸時代・文化12年 (1815)
1冊
淡彩摺・半紙本
22.7×15.7
太田記念美術館

p.105 | 92 T
葛飾北斎
《北斎漫画》
江戸時代・文化11年-明治11年
(1814-1878)
15冊
淡彩摺・半紙本
各22.7×15.7
すみだ北斎美術館

p.107 | 93 O
歌川国芳
《源頼光公館土蜘蛛妖怪図》
江戸時代・天保14年 (1843) 頃
大判錦絵三枚続
各37.2×25.7
和泉市久保惣記念美術館

p.108右 | 94 T
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人之壹
人 浪裡白跳張順》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
37.3×25.3
太田記念美術館

p.108左 | 95 T
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人一個
混江龍李俊》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
35.8×24.6
太田記念美術館

p.109右 | 96 S
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人一個
出林龍郷淵》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
36.4×25.5
太田記念美術館

p.109左 | 97 S
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人一個
松火兒張横》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
37.7×25.5
太田記念美術館

p.110右 | 98 S
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人之一
人 花和尚魯智深 初名魯達》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
38.3×26.3
太田記念美術館

p.110左 | 99 O
歌川国芳
《通俗水滸伝豪傑百八人之一
個 九紋龍史進 跳潤虎陳達》
江戸時代・19世紀
大判錦絵
37.0×25.5
和泉市久保惣記念美術館

p.111 | 100 TO
歌川国芳
《流行達都絵希代稀物》
江戸時代・嘉永元年 (1848) 頃
大判錦絵三枚続
35.8×75.1
東京藝術大学

pp.113-114
101 : S 102 : O 103 : T
月岡芳年
《月百姿》
明治18-25年 (1885-92)
大判錦絵、揃物100図、折帖
各34.8×23.5
横浜美術館 (加藤栄一氏寄贈)

p.115上 | 104 O
月岡芳年
《義経記五條橋之図》
明治14年 (1881)
大判錦絵三枚続
34.6×70.9
太田記念美術館

p.115下 | 105 TS
月岡芳年
《義経記五條橋之図》
明治14年 (1881)
大判錦絵三枚続
36.4×71.8
横浜美術館 (加藤栄一氏寄贈)

p.116右 | 106 S
月岡芳年
《彪題百撰相 駒木根八兵衛》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.0×24.4
太田記念美術館

p.116左 | 107 O
月岡芳年
《彪題百撰相 島左近友之》
明治元年 (1868)
大判錦絵
35.5×24.2
太田記念美術館

p.117右 | 108 T
月岡芳年
《彪題百撰相 堀井恒右工門》
明治元年 (1868)
大判錦絵
37.1×25.0
個人蔵

p.117左 | 109 T
月岡芳年
《彪題百撰相 小幡助六郎信世》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.3×24.6
個人蔵

p.118右 | 110 T
月岡芳年
《彪題百撰相 森力丸》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.1×24.7
個人蔵

p.118左上 | 111 S
月岡芳年
《彪題百撰相 滋野左工門佐幸
村》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.7×24.9
太田記念美術館

p.118右下 | 112 O
月岡芳年
《彪題百撰相 阪井久蔵》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.1×24.6
太田記念美術館

p.119 | 113 O
月岡芳年
《彪題百撰相 冷泉判官隆豊》
明治元年 (1868)
大判錦絵
36.2×24.5
個人蔵

第3章 工芸

伝統と革新

p.124 | 114
吉田包春
《密陀絵盆 (構造)》
乾漆
高5.3 径39.0
東京藝術大学

p.125 | 115
吉田包春
《紫檀木面挟拭 (構造)》
紫檀・金・銀平蒔絵
高33.5
甲：縦13.7 横112.0
台：縦32.2 横6.2
東京藝術大学

p.126 | 116 TS
吉田包春
《構造 螺鈿紫檀阮咸》
1899年
漆工
長101.8 幅38.5
東京国立博物館

p.127上 | 117
吉田立斎
《構造 金銀平脱八角鏡》
1932年
銅製・鑄造・漆塗・金銀平脱
高0.8 径28.2
東京国立博物館

p.127下 | 118
増村紀一郎
《正倉院宝物「漆皮御裳襷箱」
復元構造》
1998年
漆皮
幅44.5 奥行38.5 高12.4
東京藝術大学

p.128 | 119 TS
金森映并智
《鑄銅象嵌六方花器》
1976年
銅・象嵌
幅19.7 奥行17.0 高18.4
石川県立美術館

p.129上 | 120 T
室瀬和美
《蒔絵飾箱「麦穂」》
1985年
研出蒔絵・高蒔絵・螺鈿・切金
幅25.0 奥行14.0 高11.0
個人蔵

p.129下 | 121 SO
室瀬和美
《蒔絵螺鈿八稜箱「彩光」》
2000年
研出蒔絵・平蒔絵・螺鈿・切金
高9.2 径25.2
国 (文化庁)

p.130上 | 122
三代 魚住為美
《砂張干筋文様水指》
1998年
鍍金・鍍金
高9.5 径24.0
国 (文化庁)

p.130下 | 123 O
藤塚松星
《網代編盛籃「夕波」》
1993年
真竹・編み (網代編)・組み
幅32.0 奥行40.0 高11.0
国 (文化庁)

p.131上 | 124
五代 伊藤赤水
《無名異練上花紋鉢》
1997年
練上げ
高10.0 径46.5
国 (文化庁)

p.131下 | 125 O
中川清司
《神代杉木画面紙箱》
1983年
神代杉、指物、木画
幅31.0 奥行28.0 高12.0
国 (文化庁)

p.132 | 126 TS
須田賢司
《楓嵌装小箆箭「阿虎乃宇美
丹」》
2021年
木竹工、楓
幅49.0 奥行13.0 高20.0
個人蔵

p.133 | 127 TS
須田賢司
《黒柿拭漆小箆箭》
1994年
木 (黒柿)、指物
幅37.0 奥行10.4 高13.3
国立工芸館

p.134上 | 128 TS
松田権六
《漆の花生》
1978年
蒔絵
幅18.4 奥行14.0 高60.5
石川県立美術館

p.134下 | 129 SO
前史雄
《沈金漆箱「莖」》
1992年
沈金
幅25.0 奥行25.0 高15.0
東京国立博物館

p.135上 | 130 O
小森邦衛
《曲輪造監胎盤「黎明」》
2002年
木製(曲輪造)、竹、漆塗、蒔繪
高3.8 径44.5
国(文化庁)

p.135下 | 131 TS
坂下直大
《曲輪造盛器》
1978年
漆、曲輪
高5.9 奥行27.0 高6.0
国立工芸館

p.136 | 132
森口華弘
《友禪訪問着「梅園」》
1997年
絹、友禪
174.0×136.0
京都国立近代美術館

p.137 | 133
森口華弘
《友禪訪問着「観玉梅」》
1988年
絹、友禪
181.0×128.0
京都国立近代美術館

p.138 | 134
森口邦彦
《友禪着物「新雷」》
1986年
絹、友禪染
172.0×122.6
広島県立美術館

p.139 | 135
森口邦彦
《友禪着物 網代文様》
1972年
絹、友禪
162.0×125.0
京都国立近代美術館

p.140上 | 136
十三代 今泉今右衛門
《色絵薄墨玉すだれ文鉢》
1993年
色絵磁器
高12.3 口径45.4 高台径19.0
東京藝術大学

p.141 | 137
十四代 今泉今右衛門
《染付墨はじき梅花文鉢》
1998年
染付
高14.5 径44.5
東京国立博物館

pp.142-143 | 138 T
江里佐代子
《截金彩色飾莒「花風有韻」》
1991年
截金
高23.0 径16.0
国(文化庁)

p.144 | 139 SO
江里佐代子
《截金彩色飾莒「美意延年」》
1987年
銅、截金
高23.0 径16.0
個人蔵

p.145 | 140
江里朋子
《截金飾箱「皓華」》
2011年
截金、金箔、プラチナ箔、桐、桑
幅20.4 奥行12.0 高10.5
個人蔵

p.150 | 141
作者不詳
《伊勢海老自在置物》
江戸後期-明治時代
鉄、自在
幅55.0 奥行6.5 高12.0
京都国立近代美術館

p.151 | 142
明珍
《蛇自在置物》
明治時代
鉄、自在
幅84.4 奥行1.4 高1.4
京都国立近代美術館

p.152 | 143
高瀬好山
《鯉自在置物》
明治-大正時代
四分一、自在
幅32.7 奥行11.3 高11.4
京都国立近代美術館

p.153 | 144
安藤緑山
《竹の子に梅 牙形置物》
大正-昭和初期
象牙着色
幅37.0 奥行18.0 高25.9
京都国立近代美術館

p.154 | 145
安藤緑山
《蜜柑 牙形置物》
大正-昭和初期
三個
象牙着色
幅7.2 奥行7.2 高5.5/
幅7.1 奥行6.2 高5.2/
幅6.5 奥行6.5 高5.2
京都国立近代美術館

p.146 | 146
本郷真也
《環 瓢箪》
2017年
鉄
幅26.5 奥行12.5 高44.0
個人蔵

p.147上 | 147 T
前原冬樹
《一刻 梅莒》
2021年
油彩/朴
幅39.0 奥行13.5 高6.8
KANEGAE

p.147下 | 148 O
前原冬樹
《一刻 手に籠》
2012年
繪・桐
幅88.0 奥行16.0 高14.5
KANEGAE

p.148 | 149 S
前原冬樹
《一刻 タイルに兎林檎》
2018年
油彩/朴
幅37.3 奥行33.0 高10.0
個人蔵

p.149 | 150
塩見亮介
《白銀角鴉面附白絲織兜袖》
2022年
鉄、真鍮、漆、革、正絹組紐
幅85.0 奥行45.0 高110.0
個人蔵

第4章 災いと美

pp.160-161 | 151 T
作者不詳
《肥後国海中の怪》
1846年
摺物
上辺 28.9 下辺 28.4
左辺 23.0 右辺 22.6
京都大学附属図書館

p.162 | 152
アルフレート・レーテル
《友としての死》
1851年
木版/紙
30.1×27.3
町田市立国際版画美術館

p.163 | 153
アルフレート・レーテル
《屠殺者としての死、1831年、パリの仮面舞踏会におけるコレラの登場》
1851年
木版/紙
30.6×27.4
町田市立国際版画美術館

p.164右 | 154 T
マティアス・ゲールング
《黙示録の四騎者》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.3×16.3
町田市立国際版画美術館

p.164左 | 155 T
マティアス・ゲールング
《第一のラッパ》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.1×15.8
町田市立国際版画美術館

p.164右 | 156 T
マティアス・ゲールング
《第二のラッパ》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
22.2×14.1
町田市立国際版画美術館

p.164左 | 157 S
マティアス・ゲールング
《第三のラッパ》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.3×16.2
町田市立国際版画美術館

p.165右 | 158 S
マティアス・ゲールング
《第四のラッパ》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.0×16.0
町田市立国際版画美術館

p.165左 | 159 O
マティアス・ゲールング
《第五のラッパ》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.3×16.2
町田市立国際版画美術館

p.165左 | 160 O
マティアス・ゲールング
《煮えたぎる鍋のなかの救皇と地上の支配者たち》
(セバスティアン・マイアー「黙示録註解」
木版挿絵連作より)
1544-58年
木版/紙
23.3×16.2
町田市立国際版画美術館

p.166右 | 161
マールテン・デ・フォス下絵、
ラファエル・サードレル版刻&出版
《ソドムとゴモラの滅亡(炎上)》
(「旧約聖書の中の罪人」4枚組のうち)
1583年
エンブレイヴィング/紙
37.4 × 28.3
TTTコレクション

p.166右 | 162 T
ミヒャエル・ヴォルゲムート、ヴィルヘルム・ブライデンブルフ
《死の図像》(ハルトマン・シェーデル
『年代記』ラテン語版より)
1493年刊
木版/紙
19.4×22.4
町田市立国際版画美術館

p.166左 | 163 O
作者不詳
《地獄の責め苦》(『魂の庭』より)
1483年
木版・手彩色/紙
19.3×12.0
町田市立国際版画美術館

p.166左 | 164 S
作者不詳
《バビロンの崩壊》(上部)
《石臼を持った天使》(下部)
(木版本「黙示録」第4版第37葉より)
1465年
木版・手彩色/紙
24.7×19.5
町田市立国際版画美術館

p.167 | 165
ジル (&ジュール)・アルドゥアン出版
《「突然の死」連作》
(「リモージュ典礼式時祷書」)
1510年頃
木版/紙
各20.0×15.0
TTTコレクション

pp.169-172
[映像展示]
パブロ・ピカソ
《ゲルニカ》
p.174 | 166
澁光
《梢のある自画像》
1944年
油彩/カンヴァス
72.8×53.2
東京藝術大学

p.175 | 167
澁光
《蝶》
1941年
油彩/カンヴァス
41.1×31.9
広島市現代美術館

p.176 | 168
澁光
《静物(魚の頭)》
1941年
油彩/カンヴァス
88.6×144.7
広島市現代美術館

p.178 | 169
香月泰男
《青の太陽》
1969年
油彩、方解末、木炭/カンヴァス
162.1×111.6
山口県立美術館

p.179 | 170
香月泰男
《北へ西へ》
1959年
油彩、方解末、木炭/カンヴァス
72.7×116.6
山口県立美術館

p.180 | 171
香月泰男
《「私の」地球》
1968年
油彩、方解末、木炭/カンヴァス
111.6×162.1
山口県立美術館

p.182 | 172 SO
石内都
《ひろしま #11 donor :
Harada, A.》
2007年
発色現象方式印画
108.0×74.0
作家蔵

p.183 | 173
石内都
《ひろしま #5》
2007年
発色現象方式印画
154.0×100.0
作家蔵

p.184 | 174 O
石内都
《ひろしま #65 donor :
Segawa, M.》
2007年
発色現象方式印画
108.0×74.0
作家蔵

p.185 | 175
石内都
《ひろしま #9 donor: Ogawa, R.》
2007年
発色現象方式印画
108.0×74.0
作家蔵

p.186上 | 176 SO
石内都
《ひろしま #41 donor: Kawamuki, E.》
2007年
発色現象方式印画
23.0×33.5
作家蔵

p.186下 | 177
石内都
《ひろしま #37F donor: Harada, A.》
2007年
発色現象方式印画
23.0×33.5
作家蔵

p.187左上 | 178 O
石内都
《ひろしま #36》
2007年
発色現象方式印画
23.0×33.5
作家蔵

p.187右下 | 179 O
石内都
《ひろしま #88 donor: Okimoto, S.》
2010年
発色現象方式印画
33.5×23.0
作家蔵

p.188 | 180
野見山暁治
《ある歳月》
2011年
油彩/カンヴァス
194.0×162.0
福島県立美術館

pp.189-190 | 181
野見山暁治
《震災スケッチブック》
2011年
鉛筆、サインペン等/紙
18.8×18.8
福島県立美術館

p.191 | 182 O
鴻池朋子
《風が語った昔話》
2015年
ミクストメディア(布、羊毛フェルト、毛糸、刺繍糸他)
238.0×220.0×3.0
高松市美術館

pp.192-193 | 183 O
鴻池朋子
《メディスン・インフラ・マップ》
2024年
木炭、ミクストメディア/木炭紙
400.0×約1500.0
青森県立美術館

pp.194-196 | 184 O
鴻池朋子
《皮綴帳》
2015年
水性クレヨン、水彩/牛革
600.0×2400.0
高橋龍太郎コレクション

p.197 | 185 O
鴻池朋子
《Kegare》
2007年
アクリル、墨、雲肌麻紙、木パネル
160.0×300.0
個人蔵

第5章
作家の
生き様と美
アトリエ&創作の現場

p.204 | 186 SO
芹沢桂介
《文字入四季文二曲屏風》
1954年
二曲一隻
型染/絹
177.8×168.6
静岡県立芹沢桂介美術館

p.209 | 187 SO
三岸節子
《花(ヴェロニにて)》
1989年
油彩/カンヴァス
72.5×59.7
一宮市三岸節子記念美術館

p.210 | 188 SO
三岸節子
《太陽讃歌(山はくれない)》
1969年
油彩/カンヴァス
90.0×72.0
一宮市三岸節子記念美術館

p.211 | 189 SO
三岸節子
《作品II》
1991年
油彩/カンヴァス
116.7×90.9
一宮市三岸節子記念美術館

pp.214-215 | 190
岡本太郎
《遭遇》
1981年
油彩/カンヴァス
160.5×227.0
川崎市岡本太郎美術館

p.218 | 191
柚木沙弥郎
《いのちの樹》
2018年
型染/絹
240.0×128.0
松本市美術館

p.222 | 192 T
志村ふくみ
《湖上夕照》
1979年
絹糸、植物染料/軸織
168.0×139.4
滋賀県立美術館

p.223上 | 193 S
志村ふくみ
《紅花すずし(生絹)》
1987年
絹糸、植物染料/軸織
172.2×131.0
滋賀県立美術館

p.223下 | 194 T
志村ふくみ
《水浅葱段(奥木染)》
1984年
絹糸、植物染料/軸織
152.5×128.2
滋賀県立美術館

p.224左上 | 195 O
志村ふくみ
《柳の国》
2012年
絹糸、カラス/エンドウ、紫根、刈安、藍/軸織
176.0×136.0
個人蔵

p.224右 | 196 O
志村ふくみ
《舞姫》
2013年
絹糸、紅花、紫根、刈安、藍、梔子/軸織
176.0×138.0
個人蔵

p.224左下 | 197 O
志村ふくみ
《諸国遊行》
2014年
絹糸、藍/軸織
177.0×136.0
個人蔵

p.225右上 | 198 O
志村ふくみ
《クロイツェル・ソナタ》
2013年
絹糸、黒、刈安/軸織
175.0×139.0
個人蔵

p.225左下 | 199 S
志村ふくみ
《三部作 青湖》
2015年
絹糸、藍、玉葱/軸織
176.0×141.0
京都国立近代美術館

p.228 | 200 TO
加山又造
《身延山久遠寺大本堂外陣
天井画下図》
1983-84年
紙本墨画
195.0×200.0
東京藝術大学

p.232 | 201
李禹煥
《照応》
2005年
油彩/カンヴァス
162.0×130.0
静岡県立美術館

p.233 | 202
李禹煥
《照応》
1998年
油彩/カンヴァス
45.8×53.0
静岡県立美術館

p.236 | 203
舟越桂
《水に映る月蝕》
2003年
楠に彩色、大理石
90.0×55.0×47.0
個人蔵

p.237 | 204
舟越桂
《「水に映る月蝕」のための
ドローイング》
2003年
鉛筆/紙
98.0×90.0
個人蔵

pp.240-241 | 205 SO
大竹伸朗
《スクラップブック #64》
2003-05年、宇和島
ミクストメディア
50.6×54.0×62.2
作家蔵

pp.242-243 | 206 SO
大竹伸朗
《釣船 #1》
2006年
油彩、オイルスティック/
FRP(廃船部材)
105.8×557.0×22.0
作家蔵

p.246 | 207 T
諏訪敦
《恵里子》
2011年
油彩/カンヴァス
72.7×50.0
個人蔵

p.248 | 208
諏訪敦
《大野一雄》
2006-08年
油彩、テンペラ/カンヴァス
120.0×140.0
作家蔵

p.249上 | 209 O
諏訪敦
《HARBIN 1945 WINTER
(Esquisse)》
2015年
墨/段ボール
112.0×176.0
広島市現代美術館

p.249下 | 210 O
諏訪敦
《HARBIN 1945 WINTER》
2015-16年
油彩/カンヴァス、パネル
145.5×227.3
広島市現代美術館

pp.252-253 | 211
山口晃
《ショッピングモール》
2015年-
油彩、水彩、墨/カンヴァス
130.0×324.0
桐生市(大川美術館寄託)

p.254 | 212 T
山口晃
《自画像》
1994年
油彩/カンヴァス
52.0×45.0
東京藝術大学